

経済連情報 1

安全・安心・新鮮でおいしい
静岡県産の農畜産物をお届けします。

● 2025. 1
● NO.1324

令和7年 役員年頭挨拶



▲大田市場でトップセールスを開催



▲草薙神社新嘗祭・祈願祭で県産米を奉納

Main topics

令和7年 役員年頭挨拶01

topics&news

大田市場で県産農産物のトップセールスを開催
静岡県JAグループ青果・柑橘・花卉販売促進活動 ...03

系統経済事業の発展を
令和6年度系統経営者研究会03

食肉生産・流通体制の強化へ
城内実大臣へ要請文を提出04

令和6年産の収穫に感謝を捧げる
草薙神社新嘗祭・祈願祭で県産米を奉納 ...04

エネルギー供給のシェア維持拡大へ
JA-LPガス事業セミナーを開催05

新任営農経済職員が知識技能取得
営農経済事業初任者研修会05

産地の維持・強化と組合員の所得向上に向けて
営農経済センター長研修会を開催05

県産レタスをPR
「うまレタ。」を県知事へ贈呈06

花き販売計画などを共有
静岡県花卉販売対策会議を開催06

部門間・異業種連携の取組
静岡県産フェアで共同販促活動を実施06

お知らせ

第98回静岡県畜産共進会07

営農支援だより

いちご育苗の猛暑対策を考える08

お知らせ

テレビ番組「しずおかごはんが食べたい!」のご紹介 ...09

生活葬祭課からのお知らせ09

令和6年度 永年勤続表彰者10

令和7年 年頭のごあいさつ

新年あけましておめでとうございませす。
希望に満ちた新たな年を迎えられたことと
お慶び申し上げます。

令和7年の新春を迎え、本年が皆様方
にとって明るい年になりますよう、心から
ご祈念申し上げます。また、旧年中は本
会の事業につきまして、格別のご支援とご
協力を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年の我が国の経済は、円安基調によ
るインバウンドの経済効果はあったものの、
生活必需品やエネルギー価格の高止まり
など物価上昇による節約志向から個人消
費が減退したことに加えて、地政学的リ
スクの高まりによる不安定な原料供給や
中国経済の減速など、予断を許さない状
況でした。

農業を取り巻く情勢をみますと、農業
就業人口が減少する中、農業者の高齢化
や後継者の減少に伴う労働力不足の深刻
化や耕作放棄地の増加に加えて、依然と
して生産資材価格が高止まりしている状
況です。さらに、国際情勢の不安定さを
背景に、原料や食料の調達競争が激しさ
を増していることに加え、全国的な猛暑
や大雨など、頻発する異常気象により農
畜産物生産への影響が拡大しています。

また、昨年の6月に公布・施行となっ
た食料・農業・農村基本法では「食料安
全保障」を柱として、農業の発展を通じ



代表理事理事長
石川 和弘



経営管理委員会会長
河原崎 友二

た食料供給能力の維持等が規定されました。これに対し、農水省は、持続可能な食料供給を実現するために「適正な価格形成に関する協議会」を設け、食料の供給に要する合理的な費用が考慮された価格形成のための法制度の検討を行っています。

このような中、「J A静岡2か年計画」の最終年度として、販売事業では「多様な販売方法や付加価値向上による販売強化」「農産物流通施設の整備等によるバリューチェーンの構築」などに取り組んでいます。また、購買事業では「安定供給に向けた予約購買率の向上」「県域最適物流の構築」などに取り組んでいます。

また、本年の4月からは新たな3か年計画に取り組みます。本会は連合会としての県域機能をさらに強化するとともに、J Aや県・関係機関、取引先との連携を強化し、その相乗効果による農業課題への対応と、新たな事業展開により持続可能な静岡県農業の実現を目指してまいります。

さて、昨年、本会の基本理念の達成に向け、ベースとなる組織像（目指す姿）を

「組織ビジョン」として設定しました。令和7年につまみしても、役員が一丸となり組合員・会員・地域社会のニーズに応え、県域機能を発揮するとともに、「新たな事業展開に恐れず挑戦する組織」「自律的に充実した事業展開が図れる組織」「信頼される事業展開が図れる組織」を目指し取り組んでまいります。

農業を取り巻く環境は大変厳しく、課題も山積しています。これらの課題に対し、営農・販売・購買における連携強化は必須であり、我々には引き続き「旗振り」が求められます。令和7年も課題に対して緊急性と重要性を考慮し、組合員の皆様とJ Aグループの負託に応えることができるよう、スピード感を持って役員一丸となつて取り組んでまいります。関係する皆様には引き続きご支援とご協力を賜りたくお願い申し上げます。

この1年が静岡県J Aグループにとつて、さらなる飛躍の年となることを祈念いたします。年頭のご挨拶とさせていただきます。



常勤監事
市川 敬弘



常務理事
山下 昌徳



常務理事
藤野 勉



代表理事専務
鎌野 厚

大田市場で県産農産物のトップセールスを開催
静岡県JAGグループ青果・柑橘・花卉販売促進活動

みかん園芸部は12月16日、17日の両日、東京都内で「静岡県JAGグループ青果・柑橘・花卉販売促進活動」を実施し、県や県内J・A、卸売会社の代表ら約40人が参加しました。

16日は販売懇談会を開催し、京浜地区の重点卸売会社へ生産資材価格高騰に伴う各品目の経営費の変化と令和6年度の販売の取組について共有し、生産コストの販売価格への反映を求めました。

17日は東京都中央卸売市場・大田市場で鈴木康友県知事とともにトップセールスを行い、出荷の最盛期を



▲挨拶する鈴木知事

迎えるミカン、イチゴ、レタス、トマト、セルリーなどの県産農産物を市場関係者へ直接PRしました。

挨拶した鈴木知事は「今夏は記録的な猛暑や大雨があったが、生産者は一生懸命に品質の良い農産物を育て、大変良い味に仕上がっている。静岡県産農産物のおいしさと品質をぜひ確かめてほしい」と話しました。会場では、県産イチゴのPRを行う「静岡いちご娘」が「静岡いちご」と「青島みかん」を配布し、消費拡大と販売促進を呼びかけました。



▲試供品を配布する「静岡いちご娘」



▲県産農産物をPRした産地と卸売会社の代表ら

系統経済事業の発展を
令和6年度系統経営者研究会

本会（事務局…企画管理課）とJ・A静岡中央会、静岡県信連、全共連静岡県本部は12月17日、静岡市内で「令和6年度系統経営者研究会」を開き、県内J・A・連合会の役員ら約120人が出席しました。

本県4連合会合同による協議を通じて、県域の一体性と協調性を高めることが目的で、各連合会が令和6年度の事業状況などの研究事項を共有しました。

本会からは、河原崎友二経営管理委員会会長が挨拶し、石川和弘代表理事理事長がJ・A静岡経済連3力年計画（案）について説明しました。



▲挨拶する河原崎会長

食肉生産・流通体制の強化へ 城内実大臣へ要請文を提出



▲城内大臣へ要請文を提出する関係者ら

鈴木利幸県議会議員と県、本会、浜松市は12月3日、東京都内の内閣府庁舎を訪問し、城内実内閣府特命担当大臣兼経済安全保障担当大臣と自民党の県農政対策協議会推薦国会議員ら8人へ静岡県食肉センター再編整備に関わる要請文を提出しました。県や本会、生産者団体などで構成する静岡県食肉センター再編推進協議会は、平成26年より協議を進め、今年度5月に新センターの建設工事を着工、令和8年度の供用開始を予定しています。しかし、事業費の更なる増高が見込まれることから、鈴木議員が中心となり、国庫補助金の内示をより確実にするため、今回の政

要請訪問者

1	静岡県議会議員	鈴木 利幸
2	静岡県経済産業部長	田保 豪
3	静岡県経済産業部農業局畜産振興課長	手塚 喜代美
4	JA 静岡経済連常務理事	藤野 勉
5	JA 静岡経済連畜産部長	大羽 貴久
6	浜松市産業部農林水産担当部長	清水 克
7	浜松市産業部食肉地方卸売市場長	東谷 市郎

策要請を実施しました。要請内容は、次のとおり
①令和6年度補正予算食肉等流通構造高度化・輸出拡大事業（農林水産省）の確保等
②令和7年度当初予算食肉流通再編合理化施設整備事業（農林水産省）の確保
③令和8年度当初予算からの強い農業づくり総合支援交付金（農林水産省）の確保



▲米を奉納する関係者

令和6年産の収穫に感謝を捧げる
草薙神社新嘗祭・祈願祭で県産米を奉納
食糧部は11月23日、静岡市清水区の草薙神社で執り行われた新嘗祭で「県産コシヒカリ」を奉納しました。本会職員ら関係者9人が参列し、令和6年産米の収穫に感謝を捧げるとともに、合格、健康長寿、商売繁盛などを祈願しました。祈願を受けた米は、同神社で撤饌米（てっせんまい）として頒布する他、本会が「メッセーゼライス（精米2合パック）」として販売しました。
また、本会直営焼肉店「駿府の肉処静岡そだち」で12月末まで提供しました。



▲頒布したメッセージライス



▲祈願のようす

エネルギー供給のシニア維持拡大へ JA・LPGガス事業セミナーを開催

総合エネルギー課は11月27日、静岡市葵区で「JA・LPGガス事業セミナー」を開き、JA全農や県内JA、JA子会社などから役員、担当職員ら約40人が参加しました。県内JAのLPGガス事業の方向性を共有し、事業基盤の強化につなげる目的。

セミナーでは、JA全農総合エネルギー部の海老澤秀和次長が業界動向やJAグループの事業展開を報告し、「JAのLPGガス供給数量は縮小傾向。同業他社との競争の中、利用者の生活環境やニーズに応じた最適な提案が求められている」と話しました。

本会からは、今後の県内での取組方針について「事業維持のため、業務分担の見直しなどによる保安・営業体制の確立による数量確保の必要

性とガス・石油事業に電気を加えた総合エネルギーを推進し、JAの販売体制を強化していく」と説明しました。「JAでんき」事業の導入検討をすすめ、LPGガスとのセット提案で安価に電気を供給し、組合員の生活インフラ維持につなげる方針も示しました。「LPGガス販売所」への転換により顧客ニーズの変化に対応していきます。

優良事例の報告も行い、参加者は理解を深めました。



▲挨拶する藤野勉常務



▲セミナーのようす

新任営農経済職員が知識技能取得 営農経済事業初任者研修会

生産振興開発課は、JA静岡中央会と共催で、営農経済部門の初任職員の研修会を、菊川市の静岡県農業研修会館などで開き、JA職員40人が参加しました。

研修会は、前後期で2回実施し、今回は後期日程の開催となりました。第1班は11月27日・28日、第2班は12月4日・5日のそれぞれ2日間実施しました。

参加者は、土壌診断や農業機械の基礎知識、農作業事故に関する講座などを受講した他、磐田市の静岡県農林技術研究所とJA掛川市のフアーマーズマーケットを視察しました。また、静岡県農業協同組合青壮年連盟の前委員長、乗松純一さんが「営農指導員へ期待すること」と題して講演を行いました。

研修会の最後には参加者一人一人が決意表明し、信頼される営農指導員を目指すことを誓いました。



▲農林技術研究所を視察する参加者

産地の維持・強化と組合員の所得向上に向けて

営農経済センター長 研修会を開催

生産振興開発課とJA静岡中央会は12月11日、県農業会館で「令和6年度営農経済センター長研修会」を開催し、県内6JAの営農経済センター長ら14人が参加しました。営農経済センター長の役割を再確認し、取組や課題について情報交換を行うことが目的。

研修会では、中央会農政営農部とJA全農TAC・生産対策課による講義を行いました。

事例報告では、JA水郷つくば担い手・営農涉外策室の富田卓宏室長を講師に招き、出向く活動における課題解決の方法や取組の成果について報告されました。

その後は分散会を行い、生産部会や営農経済センターの出向く活動強化について意見交換しました。



▲分散会で意見交換する参加者



▲鈴木知事（右から2人目）へレタスを贈呈する関係者

県産レタスをPR 「うましレタ。」を県知事へ贈呈

静岡県レタス協議会（事務局…野菜花卉課）は11月28日、静岡市葵区の県庁を訪れ、県産レタスの統一ブランド「うましレタ。」を鈴木康友県知事へ贈呈しました。同協議会の神崎智洋会長（JAハイナンレタス委員会委員長）ら関係者7人が今年の本格出荷を前に生育状況を報告し、消費拡大を要望しました。

神崎会長は「夏の高温や雨の影響に加え、害虫の発生が多く生産に苦労したが、品質は徐々に安定してきた。新しい食べ方などを提案し、消費につなげていきたい」と話しました。



花き販売計画などを共有 静岡県花卉販売対策 会議を開催

野菜花卉課は11月29日、県農業会館で「令和6年度静岡県花卉販売対策会議」を開き、主力の卸売会社、県内JA、本会などから関係者24人が出席しました。

会議では、卸売会社が花きの消費動向と市場の情勢について、JAの担当者からは、各産地の生育状況や高温対策、販売の取組などを報告しました。本会からは、各品目の秋冬期出荷計画と販売戦略を共有しました。

安定生産と高品質花きの出荷に向けて意見交換し、産地と卸売会社との連携を強化しました。



▲青果売り場で商品をPRする生活葬課の職員

部門間・異業種連携の取組 静岡県産フェアで共同販促活動を実施

みかん園芸部名古屋事務所は11月30日、名古屋熱田区のイオン熱田店で静岡県産フェアを開催しました。青果売り場でセロリや小松菜、ほうれん草などの旬の野菜を販売した他、県産ミカンの試食宣伝も行いました。また、くらし支援部生活葬課の職員がミカンの購入者へ、同課が販売する県産ミカン果汁飲料商品の「みかん日和」300本を無料配布しました。部門間で連携して青果物とともに飲料商品をPRし、認知向上に

つなげる狙いです。今回は旭化成ホームプロダクツ㈱とのコラボ事業も併せて行い、プラスチック製保存容器「ジップロックフリーザーバッグ」の試供品を配布。同商品を使ったミカンの保存方法を提案しました。

名古屋事務所の担当者は「部門間や異業種、量販店との連携を強化し、量販店などへ消費者の購買動機につながる魅力的な企画を提案していきたい」と話しました。



▲フェアで販売したミカンと配布した試供品

第98回静岡県畜産共進会

静岡県畜産共進会は、畜産経営の基礎となる優良家畜を一堂に集め、改良増殖と飼養管理技術の向上、本県畜産業の発展を目的に畜産共進会を毎年開催しています。令和6年度は11月14日に乳牛の部、11月30日に肉牛の部の審査を実施しましたので結果をお知らせします。



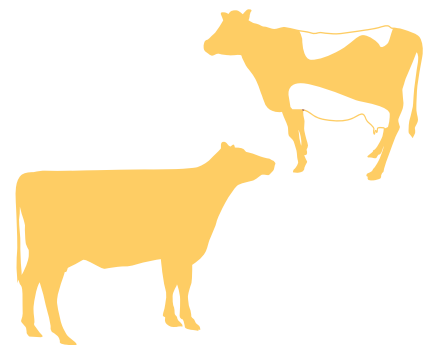
乳牛の部（経済連三島常設家畜市場）

名誉賞	高橋実徳（JAふじ伊豆）	
県知事賞	平井利幸（JAとぴあ浜松）	
最優秀賞（第1部）	生後9か月以上 12か月未満	K's南箱根牧場(株) (JA函南東部)
最優秀賞（第2部）	生後12か月以上 15か月未満	静岡県立田方農業高等学校 (JAふじ伊豆)
最優秀賞（第3部）	生後15か月以上 18か月未満	平井利幸（JAとぴあ浜松）
最優秀賞（第4部）	生後18か月以上 21か月未満	渡邊稔（JAふじ伊豆）
最優秀賞（第5部）	生後21か月以上 24か月未満	(株)オーバーザレインボー (JAとぴあ浜松)
最優秀賞（第6部）	生後30か月未満	(株)オーバーザレインボー (JAとぴあ浜松)
最優秀賞（第7部）	生後30か月以上 36か月未満	高橋実徳（JAふじ伊豆）
最優秀賞（第8部）	生後36か月以上 48か月未満	(株)クリスタルフラワー (富士開拓)
最優秀賞（第9部）	生後48か月以上	高橋実徳（JAふじ伊豆）



肉牛の部（浜松市食肉地方卸売市場）

農林水産大臣賞	(株)すずき牧場（JA 遠州夢咲）
県知事賞	武友沙千子（JA 遠州中央）
最優秀賞（第1部）交雑種	勝山畜産(株)（JA 静岡市）
最優秀賞（第2部）黒毛和種（雌牛）	武友沙千子（JA 遠州中央）
最優秀賞（第3部）黒毛和種（去勢牛）	(株)すずき牧場（JA 遠州夢咲）

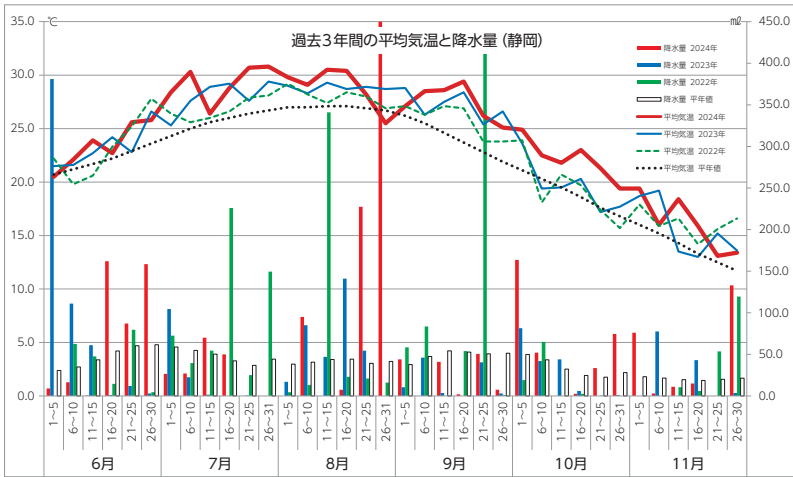


主催：JA静岡経済連、(公社)静岡県畜産協会、静岡県開拓連、静岡県ホルスタイン協会、静岡県養豚協会

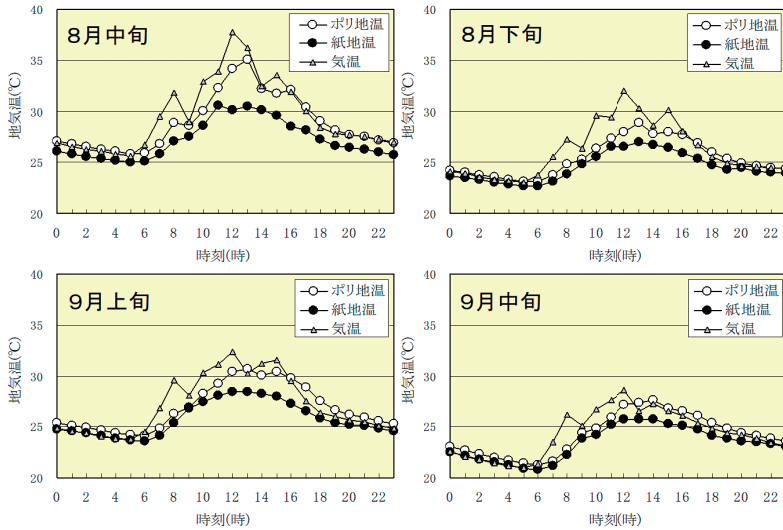
営農支援だより

作物・産地・営農・
技術・資材などの
情報をお届けします

▼グラフ-1 近年の気温と降水量(静岡地方気象台データより)



▼グラフ-2～5 次期別 ポットの違いによる培地温度の比較(農林技術研究所データより)



▲花芽前進紙製ポット



▲花菜ポット

いちご育苗の猛暑対策を考える

一 概況

昨年の育苗も大変でした。いちごの育苗期の気温が年々高くなっています(グラフ1)。気温の上昇と共にポット内の地温も上昇し、根の発根不良や根傷みも多くなっています。同時に、9月の気温も下がりやすく高温で推移している

二 健全な根を張らせるための育苗方法

ため、花芽分化が遅れ、10月の定植となり、年内出荷量の減少が目立つようになっていきます。ポリポットでの育苗では、根傷みが激しい圃場では、花芽分化のバラつき、施肥をしても肥料を吸収できない等により芯止まり株の発生も問題となっています。

花芽分化促進の為に導入されている紙ポットを利用した育苗がポリポットでの育苗と比較して地温を下げる事が可能です(グラフ1、2、5)。グラフでも確認できるように気温の上昇と共に地温も上昇しますが、8月中旬のポリポットの地温が35℃前後まで上昇していますが、紙ポットの地温は30℃程度で止まっています。時期にもよりますが、2～5℃程低くなっ

ているのがわかります。

紙ポットの特徴は、紙が水分を持つことで蒸散化熱の作用によりポット表面の温度を下げ同様に地温が上昇し難くなります。

比較的導入コストの安い2種類の紙ポットを紹介します。ポリポットに比べて導入コストはかかりますが、花芽分化が5～7日程度早まる事を考慮すれば収穫開始時期も10日程度早くなるのでコスト以上のメリットがあります。

三 花芽分化を早めるポイント

花芽分化時期の9月上旬の紙ポット表面が乾き過ぎないように観察し、灌水回数を増やすなどする必要がります。また、ポットを並べる時に間隔を開けて風通しを良くする事で蒸散効率を上げる事ができ、花芽分化を早める事に繋がります。

健全な根を張らせる事と花芽分化を早める事で年内収量を確保するようにしましょう。

野菜花卉課

技術コンサルタント 渥美 忠行

「しずおかごはんが食べたい！」(テレビ静岡)

担当：食糧部 食糧課(TEL:054-284-9737)

静岡県産米麦流通連絡協議会(事務局：食糧部)は、テレビ番組「しずおかごはん食べたい！」(テレビ静岡・全11回放送)に協賛し、県産米のPRを行っています。

令和6年度の第8回目(12月21日)の放送では、タレントの村上佳菜子さんと北村花絵アナウンサーが御前崎市と牧之原市から「夢咲こしひかり」の新米を紹介しました。

番組では、ビデオメッセージで出演したJA遠州夢咲の生産者、三井正博さんが「夢咲こしひかりは、ツヤと香りが特徴でとても美味しいです。ぜひ食べてみてください」と話し「夢咲こしひかり」をPRしました。



JA遠州夢咲 稲作研究会
会長 三井 正博さん



協力：県下JA・JA静岡経済連

information

KADODE OOIGAWAで「ニッポンエール」商品の販売を開始しました!

生活葬祭課は、JA全農と連携し、島田市の「KADODE OOIGAWA」で、令和6年11月よりJA全農の商品ブランド「ニッポンエール」商品の販売を開始しました。静岡県産クラウンメロン、ルビーグレープフルーツグミを始め北海道から沖縄県までのグミを40種類以上、ドライフルーツは30種類以上、その他チョコレート商品などを含め全部で約100種類のニッポンエール商品を販売しています。お近くへお越しの際はぜひお立ち寄りください!

住所：〒428-0008 島田市竹下62
電話：0547-39-4073
開館時間：9：00～18：00
休館日：毎月第2火曜日
※一部エリアは営業時間が異なります。



▲ニッポンエール商品売り場



▲ニッポンエール商品

令和6年度 永年勤続表彰者



勤続30年

常務理事 代表理事理事長 常務理事
 藤野 勉 石川 和弘 杉保 雅之 池田 大祐 海瀬 佳明 松永 宜秀 長澤 素直 山下 昌徳

大石 純子 中村 大作 石垣 一成 浅羽 充久 花村 真樹

勤続 30 年		
氏 名	所 属	採用 日
石垣 一成	経済連畜産センター	平成7年4月1日
池田 大祐	農業機械課	平成7年4月1日
中村 大作	野菜花卉課	平成7年4月1日
花村 真樹	生活葬祭課	平成7年4月1日
海瀬 佳明	総合エネルギー課	平成7年4月1日
浅羽 充久	東京事務所	平成7年4月1日
杉保 雅之	JA支援課	平成7年4月1日
長澤 素直	資産活用課	平成7年4月1日
松永 宜秀	生産振興開発課	平成7年4月1日
大石 純子	中東部支所	平成7年4月1日



勤続25年

常務理事 代表理事理事長 常務理事
 藤野 勉 石川 和弘 福田 辰浩 森谷 豊 本杉 雄 杉本 晃司 鈴木 直樹 石川 貴詔 山下 昌徳

齋藤 和宏 望月 慎一郎 中野 菜津子 宮 真由 佐々木 宏明

勤続 25 年		
氏 名	所 属	採用 日
本 杉 雄	監査室	平成11年4月1日
森 谷 豊	中東部支所	平成11年4月1日
杉本 晃司	西部支所	平成11年4月1日
鈴木 直樹	名古屋事務所	平成11年4月1日
佐々木 宏明	企画管理課	平成11年4月1日
石川 貴詔	畜産課	平成11年4月1日
福田 辰浩	JA支援課	平成11年4月1日
望月 慎一郎	東部生産資材課	平成11年4月1日
齋藤 和宏	西部みかん園芸課	平成11年4月1日
中野 菜津子	肥料農薬受注センター	平成11年4月1日
宮 真 由	西部支所	平成11年4月1日





静岡みかんに含まれるβ-クリプトキサンチンとビタミンCのパワー

静岡県のJAは熱海富士・翠富士を応援します



JA 静岡経済連柑橘委員会

静岡みかんスペシャルサイト公開中

静岡みかん

検索

JAふじ伊豆 JAしみず JA静岡市 JAおおいがわ JAハイナン JA遠州夢咲 JA遠州中央 JAとびあ浜松 JAみっかび

担当：みかん園芸部 柑橘果樹課 (TEL：054-284-9912)

